

令和元年度議会懇談会 会場アンケートでの主なご意見等

(1) 懇談会の内容等について

○市民の意見・思いを大事にしてほしい。

○対話が大事なら 1 番の主人公である小さな子どもの親たちと話をしてほしい。

○これまでの行政や案件等の内容を十分に把握していないと、議論についていけないと感じた。

○ピンボケの多い議員は困る。また、発言の少ない議員は何を考えているのかわからない。

○議員の答弁も当局の答弁のようで、ある意味で議会のレベルがわかってよかった。

○メモを取る議員ととらずに目を瞑っている議員と議員方たちの中で大きな違いを感じた。

○勉強になった。よく意見は出ていた。活発でよい。

○視察に行かれてどうしたい？ 何を得て、何を学んだ？

○出席人数からして、各区単位の開催がよいのでは。

○町政懇談会と議会懇談会の違いについて扱いがわからず、質問しようか悩んだ。

○参加者がとても少ない。何故？ 大問題ですよ。

○毎回同じ参加者。懇談会の意義があるのか。

○市民は、「議会の方向性はどうなんだ」との質問をされることがままあるが、議員は個々の考えがあって、議会で賛成・反対の判断を下すと思うので、議会が方向性を出す（意見をまとめる）ということは「ない」のが自然だと思う。

○現状の課題や問題になっていることへの意見等が中心であった。もう少し将来的な課題での話し合いになればと思う。

○テーマがないので、何を懇談すればよいか決められない。

○参加者が少ないので、もっと集まるように考えてほしい。意見交換の時間が少ない。

○議員の答弁について、簡潔さが必要であり、多くの意見を述べてもらうことが重要だと思う。

○お互いに「我」が強いと感じた。相手の意見をまず理解して話をしよう。

○町民への反論ばかりされている感があり、柔軟性がなくて、受入れ、聞き入れてもらえている感が薄く感じた。

○質問に対する答弁がわかりにくい。

○議会が一つになることはなくても、議員間の様子が聞きたかった。

○議会として懇談会をやる目的がよくわからなかった。

○テーマを設定しての開催も考慮してほしい。

(2) 議会に対するご意見等について

○請願審査の委員長報告が実際の委員会の内輪の報告がされていないのであれば、その場で修正を。

○議員は、町民の代表であることを再認識してほしい。住民の声を MAX 聴く。そうすれば結論はおのずと出てくるのではないか。

○健康対策は、経費節約と住民の福祉向上につながる。どんな考えをもっているのか。人口減少による周辺部の住民サービス低下に対する考え方は？

○議員に対して、町税の費用対効果は出ているのか。自問自答してほしい。

○議会だよりのクローズアップ、議員の行政に対する個人的意見は出すべきではないと思う。

○研究を重ね、活発な議会となるよう一層の努力を期待する。

○町民は、身近な状況や時には感情に左右されがちなので、大所高所から先を見て冷静に本質を見極めて判断し、根拠を示して意思表示をしていただきたい。

○ホップ栽培は疑問である。

○住民の声をしっかり聞いて判断してほしい。町は誰のためにあるのか。

○与謝野町全体を良くしてほしい。

○一部の議員からは、町政、町の民意に向き合ってもらえる話を聞いたことはよかった。

○与謝野町として活性化するために何が一番大切なのか。

○インフラ整備の不備が気になる。将来の親子たちがこの与謝野町で在住できるのか心配。